

あなたとつなぐ

甲賀こうが

市議会だより

KOKA city assembly report 令和8年(2026)05.01 vol.86

Contents

- 02 【特集】 新年度予算審議
- 06 1月臨時会・3月定例会議案審議
- 09 代表質問・一般質問／市の考えを問う
- 18 議会活動レポート
- 21 委員会活動報告
- 23 組合議会報告

PHOTO のどかな甲賀市 息子3人と散歩

早春の暖かい日でした。甲賀市は長閑で子育てのしやすい土地です。

この風景がいつまでも続きますように。(撮影者：森島和博さん)

ご応募ありがとうございました。引き続き、表紙写真を募集しています。
詳しくは裏表紙をご覧ください。

令和8年度予算

5日間延べ28.5時間

全議員による集中審議の結果

一般会計予算総額 **445億円** ←

令和8年度予算

ここが
見どころ



「新しい豊かさにあふれる甲賀スタイル実現」とは？

令和8年度は次の20年を作る持続可能な自治体経営を図るための基盤を確かなものとする位置付けの年。

議員による討論の結果 賛成多数で可決された

反対討論

物価高騰に苦しむ市民への支援が不足し、大型事業にかたよっている点が問題、市民サービスが公共サービスの後退を招くおそれがある。事業の制度設計も曖昧で、目的や成果指標が不明確なまま大切な税金が使われようとしているため反対。

賛成討論

子育て世代の経済的負担を軽減し、安心して育てられる環境を整備する、未来への重要な投資と評価。制度設計については執行までに検証・報告するとのことであった。必要な事業に「選択と集中」を進め、持続可能な財政運営と未来に繋がるまちづくりの推進に期待し、賛成。

令和7年度 一般会計補正予算(第10号・11号)

議案第10号

国の補正予算成立に伴う事業の追加・増額4,276万8千円、追加の交付税6億2,811万8千円の増額等を受け、補正・令和8年度に繰り越した事業

主な質疑

- Q** 甲南地域包括支援センターの指定管理ができなかった要因は。
- A** 民間事業者が専門職の確保が難しく委託まで受けられない状況。

議案第11号

し尿汲み取り券売上金の不足分211万5千円を甲賀広域行政組合に支払う経費

主な質疑

- Q** 約30年間公開するチャンスを逃し猛省すべき。答申を受け市当局の対応は。
- A** 風通しの良い組織づくり、問題点を報告する窓口を設置し、議会に報告。



子育て・教育に関する予算

ヤングケアラー支援体制 強化事業

471万2,000円

子どもの居場所支援や啓発業務委託により、早期発見と支援に取り組む。

主な質疑

- Q** 居場所支援と啓発支援のみで本当に改善するのか。
- A** 予算に現れないが、他団体と協議しながら連携図を作成し、実行力のある支援体制強化に努める。



福祉・介護に関する予算

介護支援専門員 確保対策事業補助

80万円

市内介護サービス事業所に勤務する介護支援専門員の定着、確保を図るため、実務研修等の受講費の一部を補助する。

主な質疑

- Q** 市内介護支援専門員の実態は。
- A** 資格を持っている方は182人で、令和8年度に資格の更新が必要な方は32人。

市民講座事業委託

3,000万円

市民力による地域課題解決を意識しながら、ひとつづくり、つながりづくりといった社会教育の利点を生かし地域づくりにつなげる。

主な質疑

- Q** 昨年度より1,000万円減で事業は維持できるのか。
- A** 開講講座の厳選や材料費の徴収で継続していく。

福祉団体バス借上補助事業

1,680万円

貸切バスを借り上げて社会福祉に関する活動を行う団体に対し、補助金を交付することにより、地域福祉の増進を図る。

主な質疑

- Q** 補助限度額は。
- A** 参加人数が29人以上で12万円。10名以上、28名までの場合は6万円と規定。

学校給食事業

4億3,325万2,000円

質と量を確保し、食育を推進するとともに、小学校給食費の無償化を実施する。

主な質疑

- Q** 中学校給食分を無償にするための費用は。
- A** 1億4,283万円を見込んでいます。

身寄り問題支援事業

158万9,000円

最後のときまで、尊厳を保ち自分らしく生活するために、身寄りのない人の支援を行う。

主な質疑

- Q** 消耗品費の内訳は。
- A** 身寄りなし問題を抱える支援に係るガイドラインの更新、啓発チラシの作成費用。



地域経済に関する予算



全国棚田サミット 実行委員会補助

100万円

来年度甲賀市が開催地となるため、本年度開催地への視察等で準備を進める。

主な質疑

Q 様々な部局と連携しオール甲賀で魅力を発信できないか。

A 商工、観光団体とも連携して前向きに検討する。

物価高騰対策リフォーム 補助事業

3,626万円

住宅リフォーム工事を行う市民に工事費の一部を補助することで、地域経済の活性化を図る。

主な質疑

Q 前年度から619万円減額だが拡充を。

A 一般の補助を10万円に統一し、申込人数に対応できる350件の予算とした。

SNS広告料

200万円

インフルエンサーとの連携や、市公式LINEなどSNS登録者・利用数の増加を図り、特に若者・子育て世代に市政情報を届ける。

主な質疑

Q インフルエンサーとの連携の方針は。

A 依頼する人や発信の内容は未定。子育て世代へのインナープロモーションに力を入れる。

地域コミュニティ推進事業

1億6,000万円

防災や福祉、社会教育等をはじめとする、市民、行政の共通の公共的課題に有効活用され、「地域共生社会の実現」につながる制度へ見直す。

主な質疑

Q 敬老会に関する事業はできないのか。

A 飲食と商品券という形での交付金の活用はできないが、高齢者の方を敬うという事業はしていただきたい。

免許取得負担金 (バス運転手確保対策)

152万5,000円

市職員が退職後等にセカンドキャリアとして公共交通の運転手を選択しやすくなるよう、二種免許等の取得費用を支援する。

主な質疑

Q 兼業も視野に入れると聞かどどのような想定か。

A 他市の事例を参考に、朝にバス会社で勤務し、その後市職員としてスライド勤務するなどの想定。

ふるさと納税推進事業

1億9,969万4,000円

寄付額4億円を目標にふるさと納税の促進を図る。

主な質疑

Q 業務委託3,520万7,000円の中身は。

A 新商品開発からリニューアル、登録業務まで幅広く担う。



若者定住に関する予算



若者定住促進事業

351万2,000円

結婚マッチング登録補助やライトなマッチングイベントを開催し出会いの場を提供する。

主な質疑

Q 結婚新生活支援事業を廃止し今回の内容に変更した理由は。

A 結婚された方でなく、これから結婚を望む方により重点的な支援をするため。

夜間タクシー等利用促進事業

1,600万円

タクシー事業者と連携し、タクシー車両を駅前に待機させることで、夜間の移動手段を確保し、利用者支援を図るための補助をする。

主な質疑

Q 対象駅、主な事業内容は。

A 週末の金・土の21時～25時まで貴生川駅を拠点として3台の確保を想定している。



まちづくりの予算



貴生川駅周辺整備事業

4億9,972万9,000円

公官民連携によるエリア価値向上や貴生川駅周辺公共施設の再整備による都市機能の集積を図る。

主な質疑

Q 物件移転補償費2億円の内容は。

A 建物・工作物・動産等に係る補償費用の他、営業補償を対象としている。

水口スポーツの森再整備事業

3,500万円

再整備のための事業者募集を行うにあたり公民連携のアドバイザー業務を委託する。

主な質疑

Q アドバイザリー業務とは何か。貴生川のアドバイザーとの違いは。

A 契約書作成、事業者選定の審査など専門性の高い業務を一括して行う。貴生川のアドバイザーは伴走支援。

ごみ分別アプリ多言語版 導入業務委託

36万3,000円

外国語版のごみ分別アプリの導入により、ごみの減量化とリサイクルを推進する。

主な質疑

Q 外国語の3言語の内訳は。

A 英語、ポルトガル語、ベトナム語の3か国語に対応。その他の言語はごみカレンダー等で対応する。

虫生野東部土地区画整理事業

1億4,543万7,000円

約6.8haの区域で約210区画の新たな住宅地造成を行い、定住人口・駅利用者の増加を促進する。

主な質疑

Q 投資回収の見込みは。

A 住民税や固定資産税の増収を見込み、令和19年度でプラスに転じる計画。

議案審議

令和8年第1回臨時会が1月30日に、第2回定例会が2月12日から3月18日までの日程で開催されました。議案は、臨時会が専決処分の承認1件、補正予算2件、定例会では新年度予算9件を含め28件でした。また、請願1件、意見書4件もありました。

1月30日
臨時議会



2月26日
議案質疑



3月18日
討論採決



■ 当初予算	9件
■ 条例制定・改正	10件
■ 補正予算	6件
■ 人事	1件
■ その他	2件
■ 請願	1件
■ 意見書	4件

今号ではこの中から5つをpickupします。
結果の詳細は8頁をご覧ください。

こんな
議案を審議し
決めました

1月臨時会

PICK
UP
1

議案第2号

令和7年度甲賀市一般会計補正予算(第9号)

賛成多数で、可決しました。

質疑応答

Q 物価高騰対策地域応援クーポン券事業は、エネルギー価格、食料品価格等の物価高騰による影響を受ける全市民に対し、市内店舗で使用できるクーポン券を配布するものであるが、クーポン券を、市内本店の中小企業者の店舗および商工会員の事業所利用分と、市内店舗利用分に分けた理由は何か。

A 国の物価高騰対応重点支援地方交付金を財源にしており、物価高騰の影響を受けた生活者に対してクーポン券を配布し、消費を下支えし応援するという趣旨である。地元店舗で利用できるクーポンとして、市内本店の中小企業の店舗および商工会員の事業所利用分として1人3,000円分と、生活者が使いやすい大型量販店の市内店舗利用分として1人3,000円分の、2つに分けたものである。

3月定例会

PICK
UP
2

議案第14号

甲賀市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

全員賛成で、可決しました。

質疑応答

Q 第5条で特定乳児等通園支援事業者は、乳児等支援給付認定保護者から利用の申し込みを受けたときは、正当な理由がなければこれを拒んではならないとある。正当な理由とは何か。また、だれが判断するのか。

A 正当な理由とは、社会通念上客観的・合理的に正当と認められる事由であり、定員超過等利用を申し込んだ保護者に対し説明し理解が得られるべき理由である。また、正当な理由とはいいがたい運用については、国のガイドライン等を基に市が判断し、必要に応じて指導等行う。

PICK UP 3

議案第5号

令和8年度甲賀市国民健康保険特別会計予算

議案第29号

甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で、可決しました。

反対討論

医療・介護・後期高齢者支援分の税率等は据え置きされたものの、令和8年度から子ども・子育て支援分が加わり引き上げに。そもそも医療保険と関係がない施策を保険料に上乗せすることに反対。

賛成討論

県単位の枠組みのもと持続可能な国保制度の確保のため努力されている。第一は基金の活用を適正に行い急激な保険料上昇を抑制している。第二は特定健診の拡充など保健事業の充実。第三は収納対策と負担の公平性が買われているので賛成。

PICK UP 4

議案第6号

令和8年度甲賀市後期高齢者医療特別会計予算

賛成多数で、可決しました。

反対討論

制度導入から18年間をみると、均等割額は当初3万8,175円が令和8年度からは5万5,380円、所得割率も6.85%から10.13%に。くわえて後期高齢者医療にも子育て支援分が加算され、年金生活者の家計を直撃する引き上げなので反対。

賛成討論

高齢化率や医療費の増大、子ども子育て支援金の加算など、保険料の引き上げは避けられない状況にある。こうしたなか低所得者への配慮などが適切に組み込まれている。負担の適正化をはかりつつ、受益と負担のバランスを維持するものであるので賛成。

PICK UP 5

請願第1号

物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願

賛成少数で、不採択に。

全日本年金者組合滋賀県本部甲賀支部の支部長・藤橋雅嗣さんから「物価上昇に見合う年金引き上げを求める」請願が提出され、厚生文教常任委員会で審査しました。請願事項は、「若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額を改善すること」。請願を採択して国に意見書をあげてほしいという請願です。

反対討論

持続可能な仕組み作りを確実に行うことが求められている。公的年金制度も同様である。それが賃金や物価の改定を緩やかに調整するマクロ経済スライド。将来の給付水準を確保し、制度の持続可能性を高めていくことが期待され合理性がある。将来世代の一人として本請願を採択することは躊躇せざるを得ない。

賛成討論

第二次安倍政権以降14年間で、物価は17.2%上昇しているのに基礎年金額は7.3%の改定にとどまっている。つまり9.9%の減額。4月から基礎年金が1.9%、厚生年金が2.0%引き上げられたが、物価上昇率3.2%に追いついていない。マクロ経済スライドの仕組みが年金引き上げを抑えている。せめて物価上昇に見合う年金引き上げをという請願は当然の願いであり、賛成。

代表質問

<p>凛風会 たになが けんじ 谷永 兼二</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 持続可能な市政運営と財政規律について 2 地域共生社会の構築について 3 中山間地域の農業施策について 4 観光施策について 5 企業誘致施策について 	<ol style="list-style-type: none"> 6 交通政策について 7 子育てと学校教育の今後の方針について 8 自治振興会、まちづくり協議会の目指す姿と支援について 9 甲賀市し尿くみ取り券売上金不足問題について
<p>公明党 ほり いくこ 堀 郁子</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和8年度予算について 2 第3期基本計画について 3 若者支援について 4 子育て・教育について 5 障がい児者・高齢者支援について 	<ol style="list-style-type: none"> 6 女性支援について 7 防災について 8 獣害対策について 9 文化・芸術振興について 10 環境について
<p>日本共産党 おかだ しげみ 岡田 重美</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民のいのちと暮らし・人権を守る立場から国政の課題について 2 岩永市政の課題について 3 市長の施政方針と新年度予算案について 	
<p>瑞誠の会 きただ れいこ 北田 麗子</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和8年度における市長の予算編成方針及び次の20年をつくる選択と集中の成長戦略について 	

一般質問

<p>たなか よしかつ 田中 喜克</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「公共施設等総合管理計画・施設の最適化計画」、今こそ断行、より積極的な取り組みの姿勢を 2 先人が教えてくれる 地域「地名」で知る災害危険について 3 「市役所力の強化」の第一歩は「職員の意識改革」で
<p>いとめ まさき 糸目 仁樹</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自治振興会・まちづくり協議会役員の不祥事に対する市の対応について 2 障がい者相談支援事業・計画相談支援事業の現状について
<p>おぐら つよし 小倉 剛</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通安全対策について 2 食料システム法について 3 積雪時のゴミ収集運搬について
<p>きむら まさお 木村 眞雄</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲賀市における主権者教育のあり方について 2 公共施設の利活用について 3 除草作業の現状認識と今後の方向性について
<p>おくむら のりお 奥村 則夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 河川浚渫における残土処分地の確保について 2 第2次甲賀市小中学校再編計画について(土山地域を中心に)
<p>なかしま ゆうすけ 中島 裕介</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業者負担に配慮した発注の在り方について 2 偽・誤情報の対策について
<p>にしだ まこと 西田 忠</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 資源ごみが市の歳入に もっとリサイクル 2 条件不利地域の農地を守るために
<p>おさ もとかず 長 源一</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 荒廃農地対策等について 2 地域コミュニティの活性化等について
<p>やまおか みつひろ 山岡 光広</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 市職員の時間外労働をなくす働き方改革について 2 下朝宮のゴミ問題 その後 第二弾 3 国民健康保険税の引上げについて 4 甲南の忍術屋敷駐車場にある観光トイレの改修を
<p>あくい すずむ 福井 進</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲賀市し尿くみ取り券の売上金不足問題について 2 「甲賀流学びの多様化学校」で、不登校等の克服を
<p>わかさ けんた 若狭 健太</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 フリースクール利用児童生徒支援補助金の条件を緩和して児童生徒の真の社会的な自立を目指しては 2 不採算地域のインターネット環境はライフラインとして市が守り抜いては 3 公共ライドシェアの利便性を向上させ、バス路線の代替手段としての利用拡大を目指しては
<p>でぐち まさゆき 出口 雅之</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自動運転バスの導入について 2 デジタルツールの活用について
<p>とみまさ よしあき 富増 力章</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民力を生かした、まちづくりについて
<p>むらき けいたろう 村木 慶太郎</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲賀市独自の農産ブランディングを 2 持続可能なまちづくりに向けた「稼ぐ力」の考え方について
<p>こが ともやす 古賀 友康</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 甲賀市の乳幼児教育・保育の指針に関して
<p>にしやま みのる 西山 実</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域公共交通の充実を、特に、水口地域のコミバスをもっと便利に 2 本水口バス停横の休憩所とトイレの改修を 3 上下水道料金について 4 朝夕の交通渋滞の解消へ、右折信号の設置を
<p>にしむら けい 西村 慧</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 金利上昇に伴う公金の運用について 2 民間屋内遊戯施設の活用に関する検討状況について 3 学校給食における有機栽培米導入の検討状況と給食費無償化について

21人の議員が

市の考えを問う

21人の議員が質問しました。質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

第2回定例会の代表質問が2月24日に、一般質問が2月27日・3月2・3・4日の4日間にわたって行われ、

重点施策の推進と財政規律の強化による 持続可能なまちづくりの実現に向けた取組は



凛風会

谷永

兼二



Q ①市長が最も優先して定着させたい政策の優先順位と、市民に対しての覚悟は。②厳しい財政の中で持続可能な市政を実現するには、何を残し何を直すのかを明確にすることが重要であるが具体策は。③中山間地域農業の維持、農業基盤の次世代継承、獣害対策強化の方針は。④企業誘致施策の取組の具体策は。

A ①「若者・子育て世代に選ばれるまち」の実現に向けた5つの重点プロジェクトについて、引き続き重点的に予算を配分し実施をしていきたい。併せて「次の20年をつくる」ための4つの視点「地域共生社会の実現」「公共施設の合理化」「未来への投資」「市役所力の強化」を踏まえた、本市の持続可能性を高める取組についても、優先して定着をさせていく必要がある。最少のコストで最大の効果を生み出すことにより、決して次世代に過大な負担を残さないという覚悟で取り組む。②本市は合併特例事業債や基金を活用し老朽化施設の整備を計画的に進めてきたが、近年の人件費や物価高騰への対応で基金残高は減少傾向にある。今後の社会状況の変化や国の積極財政に備え、投資効果の高

い事業を実施し、メリハリのある引き締まった予算により基金残高を計画的に回復させ、本市が一層飛躍するために必要な財政規律を導入する考えである。③中山間地域の農業負担を踏まえ、農地・施設保全、新規就農支援、スマート農業導入、担い手確保を継続する。老朽化した用排水路は国県補助で水口・甲賀・甲南から修繕し、土山・信楽も調査後に対応する。大区画化は地域実情に応じて進め、獣害対策は捕獲・防除・環境管理を総合的に強化する。④次年度は、都市政策部に企業立地支援係を設置し、開発事業者や企業への働きかけ、許認可調整、地元調整を担う。商工労政課では企業訪問を強化し、設備投資の意向把握や支援制度の周知を進める。新名神甲賀工業団地第2期については、デベロッパー等と協議を継続中で、データセンター誘致は電力事情を踏まえ慎重に判断する。本市は医薬品・電子関連など化学分野の集積が強みであり、産業クラスター形成の可能性を国県に働きかけていく方針である。

市独自の物価高騰対策は。公民連携について。多様な働き方への支援。制度の狭間で苦しむ市民への支援は。



公明党

堀

郁子



Q 令和8年度予算・第3期基本計画について伺う。

A 物価高騰対策は国庫補助により中学校や保育園、放課後児童クラブの給食材料費の支援、4・5月分の水道基本料金の減免、住宅リフォーム補助、一般乗用旅客運送事業者支援等2億3,692万円を計上。市独自の支援も必要、検討を進める。公民連携は窓口を一本化し情報収集する。中小企業が多様な働き方を導入できるよう実務的な助言を行う。制度の狭間で苦しむ市民が取り残されないよう包括的相談支援事業で解決を図る。

若者支援(結婚支援・教育ローンの利子補給制度・住宅支援・鉄道駅からの二次交通・資格取得・プレコン相談)

Q 若者支援について伺う。

A 結婚支援は40代前半の方々も対象に継続する。教育ローンの利子補給制度は考えていない。住宅支援は家賃補助も含め検討する必要がある。鉄道駅からの二次交通の充実を

検討。資格取得は周知する。プレコン相談は既存の相談で対応。

ヤングケアラー・義務教育終了後の不登校児童・学校生活・障がい児者・高齢者・女性への支援について

Q こども・教育支援・障がい児者・高齢者・女性支援について伺う。

A ヤングケアラー支援では地域での早期発見と孤立防止のため居場所作りに取り組んでいる。自治振興会や区・自治会と連携し、こどもたちを守る環境づくりに努める。義務教育終了後に不登校児童生徒への支援の継続は毎月のサポートネット会議を開催し長期的な体制で取り組む。防犯カメラはこどもを守るために目の行き届きにくい・死角になりやすい場所や密室になる場所に設置するよう示されており、研究する。障がい児者の舗装具支給手続きの地域間格差は認識している。国制度のため大幅な改善は限界があるが、利用者に寄り添い簡素化・迅速化を働きかける。公共交通・公共ライドシェアに無料乗車券制度を適用するには、コミバス・コミタクの運賃補助額が年間約2,800万円、さらに運行経費もかかり、制度の拡大は難しい。子宮頸がん検診のHPV検査単独法の導入に向け調整中であり、令和8年度を目指す。



甲日本共産党
賀市議員団

岡田

重美



市民のいのちと暮らし・人権を守る 立場から国政の課題について

Q ①非核三原則見直しの動きがみられる。非核三原則は歴代内閣が引き継いできた「国是」であり堅持すべきでないか。②多くの国民、政党が消費税減税を求めている。早期実現を国に求めるべき。

A ①市の非核平和都市宣言でも非核三原則堅持を謳っていることから核兵器廃絶を強く訴えていく。②財源の安定性や経済活動の影響など考慮したうえで、国において適切に対応すべき。

岩永市政の課題について

Q ①小中学校再編計画の真の狙いは「公共施設の合理化」にあるのではないかと。市民の合意なしに進めることがあってはならない。②公共ライドシェアを無料化に見直すなど利用者の視点に立った対応が必要では。③南土山産廃処分場建設計画について引き続き知事にきちんと意見を述べるべき。

A ①市が目指す学校教育の実現であり、合理化を第一の目的としたものではない。再編校アクションプラン作成においてPTA・地域などから意見を聞く。②来年度地域公共交通計画を検証し、利用者の意見や経費分析など行い、必要な見直しや新しい対策を検討する。③予定されている準備書の段階においても、徹底した審議と審査が行われるよう強く意見を述べていく。

新年度予算案について

Q ①物価高騰対策について、国の交付金の活用は。市独自の対策も必要では。②小中学校の給食費無償化が実現した、予算は。中学校も市独自で無償化を。③公民連携事業の財政負担はどのようなものか。

A ①4・5月分の水道基本料金減免、住宅リフォーム助成などに活用。経済情勢を見極めたうえで市独自の支援策を検討する。②2億3,669万3,000円で全額国から交付される。中学校について市独自の無償化は検討していない。③「共創型」の連携。民間事業者が事業を行ううえで、公共施設等の基盤整備に対し財政投入を行うことである。

令和8年度における市長の予算編成方針及び次の20年をつくる選択と 集中の成長戦略について

Q ①国の積極財政と、本市の抑制型予算編成の整合性、そして「選択と集中」の財政戦略について。②子育て・教育政策を「若者から選ばれるまち」の最前線としてどう進化させるのか。③未来への投資を「都市計画」から「都市戦略」へどう昇華させるのか。④昨年の「整」から、今年の「定」へ。甲賀市は何を整え、何を定めるのか。

A ①市は国の成長志向の経済政策を前向きに評価しつつ、自らの強みを活かしながら将来の投資機会に備える「足腰の強い財政運営」を重視した予算と位置付けている。積極財政と財政規律の両立は、中長期財政計画に基づき、総合計画の重点プロジェクトに集中投資する方針である。基金確保と成長投資のバランスは、80億円の基金維持と取崩し制限を設けつつ、機会損失や挑戦意欲の低下リスクを認識し、「選択と集中」で重点事業に投資する。今後の「攻めの財政」への転換は、計画の見直しと検証を踏まえ適切に判断する。②妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援や就労支援を継続し、出生率向上を重視する。教育政策では、ICTやAI

の活用による学力向上と個別最適化、小中一貫教育やSTEAM教育の推進を最優先とし、若者・子育て世代に選ばれるまちづくりを目指す。③産業基盤整備や居住環境の向上により雇用創出と税収確保を図り、「稼ぐ力」を高め、その成果を子育て・教育・福祉へ再投資することで、若者や子育て世代に選ばれるまちを実現する。④市政基盤については、第2次総合計画に基づく5つの重点プロジェクトと行財政マネジメント体制を整備し、施策推進の土台が整ったと評価している。今後は、人口減少対策としてこれらのプロジェクトを横断的に推進し、「選択と集中」により効果的な分野へ資源配分を行い、持続可能な自治体運営を進める方針。また産業集積と雇用創出に挑戦し、人口定着につなげる。今後も強い決意で市政運営に取り組む。



瑞誠の会

北田

麗子





瑞誠の会

田中 たなか

喜克 よしかつ



先人が教えてくれる地域「地名で知る災害危険」について

Q 先人の教え・警告の危険な「字・小字」名に注目し、各区・地域や行政で「字名」を調べ、災害予知、防災に資することが出来ないか。

A 甲賀市では「字・小字」名の体系的な調査はおこなっていませんが、国土地理院は、「自然災害伝承碑」の情報を地形図等に掲載することで、過去の自然災害の教訓を地域住民に伝承、教訓を踏まえた的確な防災行動による災害被害の軽減を目指す取組が進められている。歴史的な地名、地域の成り立ちや地勢、過去の災害履歴を知り、地域で共有することは、住民の防災意識の向上・学習に有効である。

進められる「市役所力の強化」の第一歩は「職員の意識改革」で

Q 令和8年度に取り組まれる「市役所力の強化」のための具体的な手法、方策は。そして「まずは行動の第1歩」を踏み出してはどうか。

A 職員の働き方改革や人事評価制度を基軸とした人材育成、働きやすい職場環境づくりを進めていくとともに、複雑多様化する行政課題に対応するため組織体制の見直しを行う。また、職員の更なる資質向上のため、階層別職員研修や日常の業務に直結する実務研修を実施する。加えて、職員それぞれが、まずは行動の第1歩を踏み出せる職員の意識改革と組織風土の醸成に取り組んでいく。



無党派

糸目 いとめ

仁樹 にまき



障がい者相談支援事業・計画相談支援事業の支援を

Q 障がい児の保護者が、支援を受ける計画書を自分で作成する率(セルフプラン率)が甲賀市は他市町に比べて高い。煩雑で支援を断念する保護者もいると懸念する。相談支援事業者が少ないからと思うが、事業者の支援は出来ないか。

A 甲賀市は相談支援員の数は県内平均より多いが、専従の相談支援専門員が少ないのが課題。専従者を確保しやすい環境づくり、業務負担の軽減策、研修体制の強化など、効果的な対策を整理し、今後の施策に反映する。

自治振興会・まち協役員の不祥事の対応について

本件の記事については、仮処分の申立が出され、大津地方裁判所の決定が出るまで掲載を保留します。(糸目)



瑞誠の会

小倉 おぐら

剛 つよ



食料システム法について、適正な価格形成への生産者支援は

Q 適正な価格形成への生産者支援は。

A 肥料や燃料の高騰は、農業経営を圧迫する喫緊の課題であると認識をしている。適正な価格形成への支援と、高騰分の価格転嫁に向けた周知・相談体制を充実させることが重要と考えており、国や県の補助事業、融資制度に関する情報提供を行い、生産者の皆様が制度を最大限活用できるよう支援していく。国や県が示す「コスト指標」に関する情報を広報紙あるいはホームページなどを通じて流通・販売事業者に対し、積極的に提供し、より良い取引関係が構築されるよう働きかける。

交通安全対策について

Q 4月1日から施行される道路交通法(自転車)「改正内容の周知」方法は。

A 広報こうか4月号に特集記事を掲載する他、市ホームページや市の公式LINE等での情報発信、啓発チラシの組回覧等で周知を図る予定。また、小中学生に対しては、教育委員会と連携し交通安全や自転車の乗り方などと併せて周知を行う予定。市は、繰り返し周知を行うなど、市民の行動変容につながるようなきめ細やかな取組を行い、市民・地域・関係機関の皆様方のご協力のもと交通事故の未然防止に取り組み、安全・安心なまちづくりを推進していく。



公明党

木村 まさひろ

眞雄



甲賀市における 主権者教育のあり方について

Q ①市選挙管理委員会は、主権者教育にどのように関わっているのか。②「考え、選択し、意思表示する力」を育てるための方策は。

A ①学校からの依頼により出前講座を実施している。選挙の〇×クイズ、啓発動画の活用、模擬投票などを通して、選挙制度や投票の意義を説明している。②各校において、探求的な学びの実現に向けて、授業改善や研究を行っている。例えば、特別活動を研究の柱にして、自分たちの生活をよりよくするために、「気づき、考え、実行する」をスローガンに掲げ、話し合い活動を進めている。

公共施設の利活用について

Q ①公共施設等総合管理計画における「利活用」「複合化」「用途転換」の位置づけは。②利活用の具体例は。③利活用について今後の方針は。

A ①需要が縮小したもののうち、10年以上使用が見込めるものは利活用する。また、建替えより複合化・集約化を優先する。②鮎河小学校、山内小学校、山内保育園、鈴鹿ホール、生活支援センターあかつき、甲賀病院管理棟など。③調査し、幅広くニーズを発掘する。補助金を活用しつつ、利活用の優先順位を判断する。老朽化施設は放置せず更地にして売却も検討する。



瑞誠の会

奥村 まさひろ

則夫



河川浚渫における 残土処分地の確保について

Q ①過去5年間の要望件数、実施件数と未実施の件数は。②残土処分地が確保できないことを理由とする未実施件数は。③残土処分地の有無が河川浚渫に与える影響は。④市が主体的に関与する余地は。⑤今後は。

A ①要望件数は181件で、実施件数は96件、未実施は85件。②ない。③実施の可否の判断や優先順位が変わることはない。④地域から残土処分地の提供が事業の鍵となるため、県と地域のパイプ役として、主体的に関与していく。⑤近隣での無償の残土処分地の確保が重要で、地域に残土処分地の情報提供をお願いし、残土処分地の確保に努める。

第2次甲賀市小中学校 再編計画について (土山地域を中心に)

Q ①市全体の中で土山地域の位置付けは。②甲賀市のまちづくりで土山地域の役割は。③小中一貫校となった場合、特色ある学校づくりの具体的施策は。

A ①中学校校舎を活用した小中一貫校の設置をめざし、学校再編の先行地域と位置付け。②本市の経済の成長の一端を担うとともに、本市や滋賀県の東の玄関口として魅力を全国に発信する役割を担う地域。③「教育の質」を含め高い教育効果が発揮でき、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育て、施設一体型の小中一貫教育の良さを最大限に生かせる取組を検討している。



瑞誠の会

中島 なかじま

裕介 ゆうすけ



事業者負担に配慮した 発注のあり方について

Q ①メンテナンス契約について問う。②無償見積依頼について問う。

A ①メンテナンス契約は、設備特性に応じて導入から保守までの一体契約の利点と、競争性確保の必要性を踏まえ、責任の明確化と財政負担の軽減の両立を図りながら最適な発注形態を検討する。②予算編成や設計段階では、適正な価格把握のため複数事業者から見積を徴取している。一方、受注未確定の積算見積には負担があることも認識しており、営業活動の範囲を踏まえつつ、事業者負担に配慮しながら透明性の高い契約手続きの適正化に努める。

偽・誤情報の対策について

Q 誤情報・偽情報が社会課題となる中、災害時・緊急時の迅速かつ一元的な情報発信は、市民の命と行動を左右する重要な要素であり、本市の情報発信と危機管理をどのような理念と方針で統括し、今後どのような体制整備を進めるのか問う。

A 市が発信する情報の信頼性を平時から確保するとともに、災害時や緊急時に迅速かつ一元的な情報発信を行うことは極めて重要であり、誤情報等を把握した際には、利用可能な媒体を活用し速やかに正確な情報を発信し、市民の適切な行動につなげ、関係部局と連携し、情報発信体制と危機管理体制の強化に努める。



凛風会

にしだ
西田
まこと
忠



資源ゴミが市の歳入に… もっとリサイクル!

Q ①昨年度の決算資料において資源ゴミで回収されたペットボトルの売却額が1,600万円以上となっていて驚いた。これほど高額となる理由は。②資源ゴミの再生技術は日進月歩で、市民への情報の周知が更なるリサイクル推進へとつながると考える。

A ①使用済みのペットボトルをペットボトルに再生利用する「ボトル to ボトル」の取組が進んでいることに加え、材料となる原油価格の高騰により需要が増え、売払価格が上昇している。②「循環型リサイクル」は持続可能な社会をめざすうえで重要な取組であり、わかりやすい情報発信に努める。

条件不利地域の農地を守るために

Q 昨年末、八田営農組合主催による八田現地踏査会が開催された。市長も同行いただいたが実際に現状を視察した上での所見は。

A 中山間地域における厳しい耕作条件や、水利施設の老朽化に伴う維持管理の負担など、地域農業が直面する課題を改めて現場で学び、担い手の減少が進む中で耕作を継続することの難しさを改めて強く認識した。



圃場現地での視察

中山間地域での圃場整備事業や 国の農業構造転換集中対策による 大区画化の可能性は

Q 市内には中山間地域の農地が多いが、この地域での圃場整備による大区画化および国の農業構造転換集中対策の活用可能性は。

A 中山間地域は傾斜地が多く、地形の制約や維持管理負担の増大などの課題もあり、地域の実情に応じた整備が必要と考える。
国の農業構造転換集中対策は、農地の大区画化を含む生産基盤の強化等を集中的に推進しており、県内一元化により取り組むことになる。大区画化による農作業の効率化、生産コストの削減、担い手不足の解消ひいては荒廃農地化抑制にも繋がるものと考え、関係団体と連携を密にし支援してまいりたいと考えている。

行政と自治振興会・まち協、 区・自治会とのさらなる協働の まちづくりが進むよう望むが考えを

Q 市長のリーダーシップにより行政と自治振興会・まちづくり協議会、区・自治会との協働のまちづくりがさらに進むよう望むが、考えと意気込みを。

A 地域コミュニティの在り方が問われる今だからこそ、既存の制度等の見直しを行い、協働のまちづくりの浸透を図るべきと考えている。行政と自治振興会・まち協、区・自治会とは、自治という同じテーブルにある。地域、市民と向き合う姿勢を示し、地域、市民が挑戦するきっかけをつくり、コーディネーターとしての役割を果たすことが、協働のまちづくりを進めるうえで不可欠であると考えている。



無党派

おさ
長源
ちとがず
一



市職員の長時間労働をなくし 働き方改革を

Q ①鳥取県や高知県で実施している「短時間勤務の正規職員枠」を甲賀市でも採用してはどうか。②「午前0時以降退庁」「午後10時以降の時間外勤務」の実態はどうか。

A ①処遇改善の選択肢として注目される働き方ではあるが、人件費増など整理を要する事項があり、慎重に検討すべき。②午前0時以降の退庁は、平均して1カ月あたり1課、1.5日であり、大幅に減少している。午後10時以降の勤務は、平均して1カ月32課。約5.4日。月のうち半数以上が午後10時を超えている職場もある。業務の必要性や優先順位の精査、業務の見直しをすすめていく。

下朝宮のゴミ焼却 その後

Q 下朝宮のゴミ問題。昨年末、地元自治会と甲賀市・県の担当課が一堂に会して認識を共有し、問題解決のために取り組むとしたものの、依然として煙と悪臭で周辺住民は困っている。①長野にある自社倉庫にあるゴミを燃やしているのか。②完全焼却は10年を要するのか、「午前9時から午後6時まで」という約束は履行させるべき、紙と木くずなら衛生センターで処理すべき。

A ①長野からの搬入はない。②現地での焼却以外の方法について提案し、早期の解決を図っていきたい。



甲賀市議員団
日本共産党

やまおか
山岡
みつひろ
光広





無党派

福井進



「し尿くみ取り券の売上金不足問題」について

Q ①合併以前からのし尿くみ取り券の売上金不足分(約210万円)をどのように支払ったのか。②「隠蔽した」等々、市役所に対する様々な不信感をどのように回復するのか。

A ①これまで不足分を翌月以降の売上金で補填して送金してきたが、口座振り込みに変更され、不足分の送金を待っていたている。②これまで何度も公表する機会があったにもかかわらず、先送りになってしまったことは猛省すべきと認識している。第三者委員会の答申の中で示される提言を真摯に受けとめ、組織風土の改革に努めると共に、よりよい行政運営を進めることにより信頼の回復に努める。

甲賀流の学びの多様化学校で「不登校の克服」を

Q ①甲賀市の不登校の現状について伺う。②〈提案〉特認校制度を生かした学びの多様化学校や教育支援センターの増設・機能の拡充等による不登校への対策をすること。

A ①昨年度の小中学生で30日以上欠席者数は337人、そのうち90日以上欠席者数は158人、10日以下の出席者数は20人。全国の状況に比べて30日以上欠席者の割合は高く、90日以上欠席者・10日以下の出席者の割合は低い状況になっている。②教育委員会と共に研究を進め、多様な学びを支え、子どもたちの可能性を広げていくまちづくりのために不断の努力を重ねる。



無党派

若狭健太



民間がカバーできないインターネットは市が守り抜いてくれるのか

Q あいコムこまの民営化が進められる中で、民間がカバーしきれない不採算地域のインターネットについて市の見解を問う。①不採算地域の世帯数は。②民間移行後に情報基盤施設が更新されない可能性はあるか。③株式譲渡契約書へ施設更新の厳守を盛り込んで。④万が一更新されない場合の市の対応は。

A ①381世帯。②そのような状況が生じないよう選定作業等に務める。③契約書に記載する検討を進めている。④そうならないよう監視等を行う計画。市は移行事業の主体として、そうなった場合の責任も含め適切に対応する。

ライドシェアの利便性を向上してバスの代替手段を目指しては

Q ①ライドシェア導入の経緯は。②運転手の雇用形態は。新しく採用できたか。③報酬の仕組みと市の予算は。④利用時間を20時まで拡大しては。⑤地域交通の将来展望は。

A ①バスからコミタクへの移行を検討したが運転手不足で難しく、ライドシェアを導入した。②シガ・エージェントシステムが直接雇用。一種免許のみの運転手を1名採用できた。③待機時間を含めて固定給。予算はライドシェア事業全体で1,700万円。④他地域のバランスを考慮し拡大できない。⑤バスは幹線道路に注力、支線はライドシェア等を活用する方針。現行計画の検証と見直しを来年度進める。



凜風会

出口雅之



自動運転バスの導入について

Q 「市政についての意識調査」では毎年、公共交通に対する不満が高いという結果が出ている。運転手不足による減便や路線廃止が要因であると思われるが、自動運転バスの導入の考えは。

A 調査分析や広報等に多額の経費が必要なほか、実施場所の道路幅員や交通量、利用状況など様々な条件が整う必要があるうえ、現時点で、実証運行の課題は多いと考えている。しかし、滋賀県と連携しながら、地域公共交通の課題解決に向けた取組を進めていくとともに、国の支援制度や法改正を注視し、本市での実証運行について調査研究を継続していく。

デジタルツールの活用について

Q より便利で使いやすいデジタルツールにするためにも、音声入力機能や対話型チャットボット*の実装の必要性を感じるが、包括的なデジタルツールの展望は。

A 市民の皆様がより簡単な操作で利用できる環境を整えることは、利用者の広がりにも必要な取組であると考えている。今後の展望としては、普及が進んでいる標準的な機能も効果的に活用するとともに、より便利なデジタルツールの導入に取り組みながら、「誰一人取り残されない、人にやさしいデジタル化」の実現をめざしていく。

*AIやプログラムによる自動会話システム



瑞誠の会

とみま
富増

よしあき
力章



市民力を活かした、まちづくりについて

Q ①市民力についての考えと公助が果たす役割への見解を市長に伺う。②「夢の学習」の市民力を活用した社会教育は、今後の様々な地域づくりのモデルになる事業であると考えているが、教育長の見解を伺う。

A ①本市における「市民力」とは、地域に暮らす一人ひとりが、地域の課題を自分ごととして捉え、主体的に関わり、支え合いながら、より良い地域社会を築いていこうとする力であると認識している。市民力を発揮する主体は、自治振興会や区・自治会、各種団体から個人の皆様方である。市民、地域の課題が複雑化、多様化する中、公助が果たすべき役割は市民、

地域が本来もっている「能力」「可能性」「強み」をエンパワメントするため世代間、地域間、団体間をコーディネートする力が行政には求められていると考えている。②「夢の学習」をひとつのモデルとして、市民主体による多様な学びの場において、互いに教え合い、支え合う温かなつながりが形成されることは、地域のさらなる活性化へとつながるものである。こうした学びを通じた絆の深化こそが、本市の目指すべき共生社会の姿であり、その実現に向け、今後とも全力で取り組んでいく。



無会派

むらき
村木
けい
慶太郎



甲賀市独自の農業ブランディングを

Q 滋賀羽二重糯は酒米と同様に生産が難しい一方で、支援の枠組みから外れやすく声が届きにくい。市として関係団体や県、国の出先機関とも連携しながら必要な制度の改善や支援枠の拡充を働きかける考えはあるか。

A 滋賀羽二重糯は、酒米と同様に生産が難しいにもかかわらず、生産体制の維持やブランド化、販路の確保など、対応が難しい課題を多く抱えている。JAこうかや生産者団体と連携し、現場の声を整理したうえで、県の農業施策やブランド支援制度の活用、国の補助制度や産地づくり支援の枠組みについて、国や県に対して積極的に働きかけていきたい。

持続可能なまちづくりに向けた「稼ぐ力」の考え方について

Q 少子高齢化が進む中で扶助費の増加は避けがたく、老朽インフラ更新費用も増していく。住民サービスの水準を守り高めるためにも、自治体として「稼ぐ姿勢」を持つことが重要になると考える。市として財政運営・行政運営の観点からどのように認識しているのか。

A 今後も行政需要の増加が予想される反面、それに見合った税収等の増加が見込めないため、公共施設の合理化やDXの推進、市役所力の強化を図り、まちづくりの新たな手法である公民連携により、エリアの価値を高めつつ、民間ならではの稼ぐためのノウハウを取り入れ、持続可能な行財政運営につなげたい。



凜風会

こが
古賀

ともやす
友康



甲賀市の乳幼児教育・保育の指針に関して

Q ①甲賀市の乳幼児教育・保育に関してどのような課題があると認識しているのか。②現在の利用者からの要望事項、不満の表明等認識している課題に対してどのように対処し利用者の満足度を高めているのか。

A ①社会の変化に伴い多様化する保育ニーズに対応していくため、教育・保育の現場を担う職員のさらなる資質の向上が求められていることに加え、保育人材の確保が困難になってきていることから、さらなる人材確保対策と定着いただく支援が重要であり、安定的な保育サービスの提供に向けて、保育者が資質を高め、自信や誇りを持ち、この職を継続していけ

るような取組が必要であると考えている。②保育幼稚園課で把握した課題は、各園と情報を共有しながら解決に向けて対応することとしており、保育園等においても、保護者からの苦情等に適切に対応するため、苦情解決責任者や苦情受付担当者の配置、第三者委員会の設置により、適宜対応している。また、保育幼稚園課では、職員及び保育指導員による定期的な園訪問を通じ、現状や課題等を把握し、指導・助言を行い、園とともに課題解決に取り組む体制としている。人材不足等の課題に対しても、訪問した保育指導員が園と一緒に指導させていただいている。



日本共産党
甲賀市議員団

にしやま
西山実
みゆる



コミバスをもっと便利に

Q ①コミバスの広野台から甲賀病院行きの増便、水口地域から甲南病院の直通便の増便を。②運転手不足の要因と対策は。

A ①現時点で可能な限りのダイヤ設定をしている。医療機関へのアクセスについては、重要な課題としてコミバスに限らず予約型の乗合交通や、乗り換え等による移動手段の確保も検討しながら、運行の在り方を検討していく。②運転手不足の対策では、事業者と協議しながら、ダイヤの見直しによる労働時間の短縮や賃金の見直しのほか、免許取得費用や採用活動の支援など、国や県と連携しながら継続して対応していく。

本水口バス停横の休憩所とトイレの改修を

Q 旧東海道水口宿の観光拠点でもある休憩所。からくり時計もあり、多くの観光客が訪れる休憩所だが、トイレが男女兼用で和式のままで手すりも無く利用しにくい。①修繕や改修の計画はあるか。②将来的にこの場所をどのように活用しようとしているのか。

A ①トイレを利用することに支障となる小規模な修繕は対応するが、トイレの改修そのものが休憩所自体の改修となり、大規模な工事となるため、現時点で改修計画はない。②観光部局や東海道「暮らし・にぎわい」再生事業の取組との連携を図りつつ検討していきたい。

金利上昇に伴う公金の運用について

Q ①昨年12月に日銀が政策金利を0.75%に引き上げたが、金利上昇に伴う受取利息等の差異(R7年度を基準にしたR8年度比較)は。②今後も金利の上昇が見込まれるが、財源の確保という点での公金運用の方針と考え方は。

A ①一般会計は2,974万円の増額、病院事業会計は65万円の増額、診療所事業会計は53万5千円の増額、上水道会計は1,364万8千円の増額を見込んでいる。②元本の安全性を最優先としつつ、短期間でも定期預金として運用し、収益性向上に取り組んでいる。さらに、「複数の金融機関からの金利見積りの比較」、「債権による運用」などの取組も引き続き行っていく。

学校給食における有機栽培導入の検討状況とR8年度から実施の小学校給食費無償化について

Q ①「みどりの食料システム戦略」に対する市長の認識は。②市内の水稻有機栽培の状況は。③新年度から国負担となる賄材料費は、児童一人あたり100円/月増加する計算となるが、その分を有機栽培米に使用できないか。

A ①持続可能な農業・食料供給体制を構築する方針であり、生産から消費まで一体の取組が求められる。学校給食で有機農産物を使用することを「流通の出口」として位置づけることは、大変有意義だと認識している。②3.16haであり、前回R4年度の質問から1.7倍の生産量となっている。③生産量が拡大されていけば導入に向けて研究をしてまいりたい。



凜風会

にしむら
西村慧
けい



忍者と一緒に給食タイム（広聴活動）



できました。

野菜、琵琶湖産の魚、近江牛などを使用されており、食を通じて地域の魅力を学ぶことができました。そして、給食の後半には、食材や生産者を紹介するビデオも放映され、さらに理解を深めることができました。

広報広聴委員会

活動報告

2月22日（ニンニンニン＝忍者の日）に先立ち、2月20日に「忍者の日」を機会として市議会議員が忍者衣装に身を包み、市内小学校（大野小学校、大原小学校、希望ヶ丘小学校）を訪問し、忍者の日特別給食と一緒に食べる取組を実施しました。主として「特別給食を通じた地産地消および食育の推進の視察」が目的でしたが、児童に対して「本市の地域資源（甲賀忍者の魅力発信）」も行うことができました。

常任委員会

総務

活動日誌

- 1月14日 調査 自治振興交付金の手引きについて
甲賀公共職業安定所の移転に伴う市役所駐車場敷地の売り払いの延期について
- 2月19日 調査報告 自治振興交付金の手引きについて
第2次甲賀市多文化共生推進計画（見直し）の素案について
甲賀市まちづくり基本条例の見直し（案）にかかるパブリックコメントの実施結果について
DX推進体制の更なる展開について

所管事務調査

自治振興交付金の手引きについて

自治振興交付金制度は、総務常任委員会の検討結果を踏まえ段階的に見直しが進められています。課題として、理念と運用の乖離、地域づくり計画の形骸化、役員体制の固定化や単年度交代、事務局機能の未成熟、行政との信頼関係不足があげられます。

見直しでは、多様な主体が参画する協議体と複数年体制を前提に、地域づくり計画の必須化、人口割等による算定、地域共生枠の新設、積立制度導入、防災備品上限緩和、事務局経費拡充などを実施。区活動交付金の明確化や定期検証も行い、地域共生社会の実現を目指しています。

Q 自治振興会制度の趣旨や考え方の見える化が必要では。

A これまでの議論やQ&Aの可視化を図るため、ホームページへの掲載などを進める。

Q ホームページでキーワード検索しても、回答が出てこない。交付金の使い方や制度の趣旨を広く

A げるためにも対策が必要では。ポータル化やチャットボットの活用など手法は検討する。

Q 無償ボランティアは限界。費用弁償に活用できる対応策は。

A 費用弁償等の支出は、見直しにより「活用できるもの」と定められた。

Q グランドデザインがどのように反映され、活用されるのか。

A グランドデザインは、行政との協働事業を含めたものとして位置付け、地域共生枠（C枠）に活かし、周知を図る。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1 地域マネージャーの雇用方法の変更	地域説明 雇用支援	開始⇒		
2 コミュニティセンターへのシフト	地域説明 条例改正	開始⇒	指定管理 順次拡大	
3 自治振興交付金の見直し		検討、周知	準備期間	開始⇒
4 まちづくり基本条例、行政区設置規則の見直し		検討	条例、規則 改正(予定)	施行(予定)⇒

報告事項

第2次甲賀市多文化共生推進計画の見直しについて(素案)

甲賀市では、外国人市民の増加を受け、平成22年に国際化推進計画、令和2年に第2次多文化共生推進計画を策定しました。その後、新型コロナウイルスの影響や在留制度改正、滋賀県プラン改定など環境が変化し、外国人市民は4741人（人口の5.4%、令和6年末）となりました。令和6年5月には多文化共生センターを開設し施策を強化しています。計画期間は令和10年度までとし、就労外国人増加への対応、県方針との整合、全庁横断体制の再構築、センターの現場課題反映、成果指標を明確化した実効性ある行動計画へ見直します。令和7年度に検討・素案作成、令和8年度に策定予定です。

Q 企業の協力をさらに求めるべきではないか。

A 企業は、市の施策に協力することは責務と国で定められている。企業に協力いただけるよう、働きかけていく。

活動日誌

- 1月21日 調査 第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画）の策定経過ならびに取組状況について
報告 令和8年度甲賀市学校教育の指針について
国スポ・障スポ 甲賀市開催競技の結果について
朝宮保育園の休園について
令和8年度甲賀市乳幼児教育・保育の指針（案）について
令和8年度国民健康保険税率改定に係る経過報告について
福祉バス運行事業の今後の方向性について 他
- 3月9日 報告 信楽中学校区の学校再編に係る保護者説明会の開催結果について 他

所管事務調査

第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画）の策定経過ならびに取組状況について

現在進められている学校再編計画について、これまでの経緯と進捗状況、今後の進め方を確認しました。

Q 様々な意見が出されている中、市民や関係者の皆様との合意形成が肝心であると考えますが、

A 再編準備委員会を立ち上げ、各地域や保護者の皆さんと丁寧な話し合いながら準備を進めていきたい。

Q 信楽地域のスクールバス運行はどのように検討されているのか。

A 通学への関心は高く、子どもたちの安全を保つためにどのような方法が良いのか色々な事例を研究検討し、来たる準備委員会に示し意見を伺い実施計画を作っていくきたい。

Q 学童保育や終了後の送迎はどうなるのか。

A 学童保育については、新たな小学校近くに設けるべきか、各地域に帰った先にあつた方が良いのか保護者の皆さまのご意見を伺った上で探していきたい。

学校再編問題については委員会内でも議論を重ね、様々な視点で丁寧に取り組んでいかねばならないと考えています。



改築工事が進む信楽小学校

報告事項

令和8年度甲賀市学校教育の指針について

Q 部活動の地域移行が地域連携に修正されているがその理由は。

A 一足飛びに地域移行とはいかず段階的に地域展開を進めたい。

福祉バス運行事業の今後の方向性について

福祉バスの老朽化に伴い事業が廃止となります。事業廃止に伴う代替策として、バス借上料補助が数年間実施されます。

Q 新しい制度では一団体当たり何回補助が受けられるのか。

A 社会福祉団体活動補助金対象団体については上限の範囲内で何度でも使えるが、サロン等地域福祉団体については令和7年度から年1回にさせていただいている。

常任委員 産業建設委員会

活動日誌

- 1月23日 調査 地域計画の状況について
報告 忍者月間事業について
道の駅あいの土山の運営状況について
甲賀地域における『甲賀流公共ライドシェア』の実証運行について
- 3月12日 調査 南土山安定型産業廃棄物最終処分場建設事業について
- 3月24日 調査 民間による安定型産業廃棄物最終処分場の建設計画について
信楽町下朝宮地先の焼却施設の状況について

所管事務調査

地域計画の状況について

令和7年末現在の甲賀市における地域計画の取組について調査しました。

Q 未作成の集落の進捗は。

A 市街化の進む6集落は作成せず、残り5集落は、現在作成中。

Q 未利用地に縛りがあり転用もできないが、違う活用方法は。

A 既に地域計画から外しているところもあり、都市計画部局と調整を行い進める。

民間による安定型産業廃棄物処分場の建設計画について

開発申請事業者を参考人として招致し意見聴取を行いました。

Q この場所の選定理由は。

A 処分場に適した谷の地形であり新名神に近いアクセスの良さ、土山地域で長く事業を行ってきたこと。

Q 環境学習の面で利用団体への聞き取りは。

A 小学校も含め、聞き取りを行う。
Q 市長の意見書の意見の部分の遮水シートの取組については。

A 現時点では、対応は難しいと考えている。

Q 展開検査の手法については。

A 30センチ以内の厚さに敷きならし、目視チェックし、安定型産業廃棄物3種類（廃プラスチック類・ガラス陶器くず・がれき類）以外のものがあれば持ち帰らせる。

Q 飲料水の心配に対して、水源地や下流域地域にも説明会を行うべき。

A 日時は確定できないが、説明会開催の検討は行う。

※本件を一過性のもものとせず継続的に調査を行う



参考人招致の様子

報告事項

甲賀地域における甲賀流公共ライドシェアの実証運行について

6月補正予算で可決した公共ライドシェアの実証運行は国の許可があり、運行が1月26日開始されました。

都市計画の変更等について

- ・土山町北土山地区
↓第一種住居地域・工業地域
- ・甲賀町鳥居野・大原中地区
↓工業専用地域
- ・水口町北脇地区
↓準工業地域
- ・水口町牛飼地区
↓近隣商業地域

廃プラスチック類のリサイクル方法の転換について

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律により、自治体は再商品化の努力義務が課されました。本市は、再商品化計画を作成し、国の認定を受け、水口テクノスとエコパレット滋賀との連携により再商品化までの処理がされます。

視察報告 総務常任委員会

令和8年1月20日

ゴルフ場を活用したふるさと納税について

兵庫県 三木市

兵庫県三木市は、全国有数のゴルフ場面積を活かし、ふるさと納税10億円を目標に取組を強化されています。直営サイトを多く運営し、DXツールを活用することで少人数でも効率的に事業を展開。



返礼品開発型クラウドファンディングでは手数料も市が負担し、新商品創出を後押しされています。

ゴルフ場での紙チケットや現地決済型「関西おでかけ納税」を広げ、観光や周遊促進にもつなげている点は、甲賀市にとって大いに参考となる事例です。

令和8年1月21日

投票区域再編について

広島県 三次市

三次市は平成29年に95投票区から78投票区に再編。その後も人口減少が続き、令和9年4月の県議会議員選から59投票区へと19投票区削減する計画。

投票機会確保のための措置として、新旧投票所間の送迎に加え、自宅からのタクシー券使用による移動支援や、巡回型期日前投票所を見直し、病院などの新たな設置型期日前投票所の増設、加えて高等学校での投票所設置実施を検討するとのことだ。

活動報告 公民連携調査特別委員会

市が推進する公民連携手法の有効性を調査するとともに、現在進行中の事業においてもその手法を用いることの必要性、効率性等の調査を行うために、12月議会において7人の委員による公民連携調査特別委員会を設置しました。設置後、特別委員会では積極的に調査や視察研修を行っています。

【調査】

公民連携の推進について

1月19日、マネジメント推進室から説明を受け、公民連携に取り組む背景や市の取組について調査しました。市では今年度、元大東市職員の東克宏氏を公民連携アドバイザーとして招き、公民連携に向けた取組を行っています。

貴生川駅周辺整備事業

2月25日、3月4日に南口交流拠点整備事業を中心に公民連携の視点で調査を行いました。本事業については以前から貴生川駅周辺特区構想に基づき進めており、都市構造再編集中支援事業として南口交流拠点整備事業を始めとする様々な事業が計画されています。



イメージ図

【視察研修】

市営住宅建替プロジェクト

「Morineki (もりねき)」

大東市では老朽化した市営住宅の建替を公民連携事業として取組まれ、周辺整備と合わせ2021年3月に「morineki (もりねき)」としてオープンしました。

広報広聴委員会

活動報告

まちの声

3分アンケート

(広聴活動)

2月11日に、甲賀市議会広報広聴委員会広聴部会のメンバーで市内大型商業施設の店内をお借りして、「まちの声3分アンケート」を実施しました。これについては、昨年9月に策定した「広報広聴ビジョン」に記載の「幅広い層との対話促進プロジェクト」を体现するための取組で、様々な世代の皆さま、合計125名のお声を伺うことができました。



いただいたお声については、部会内で整理を行い、所管ごとに各常任



委員会で調査や質問に繋げていく予定です。

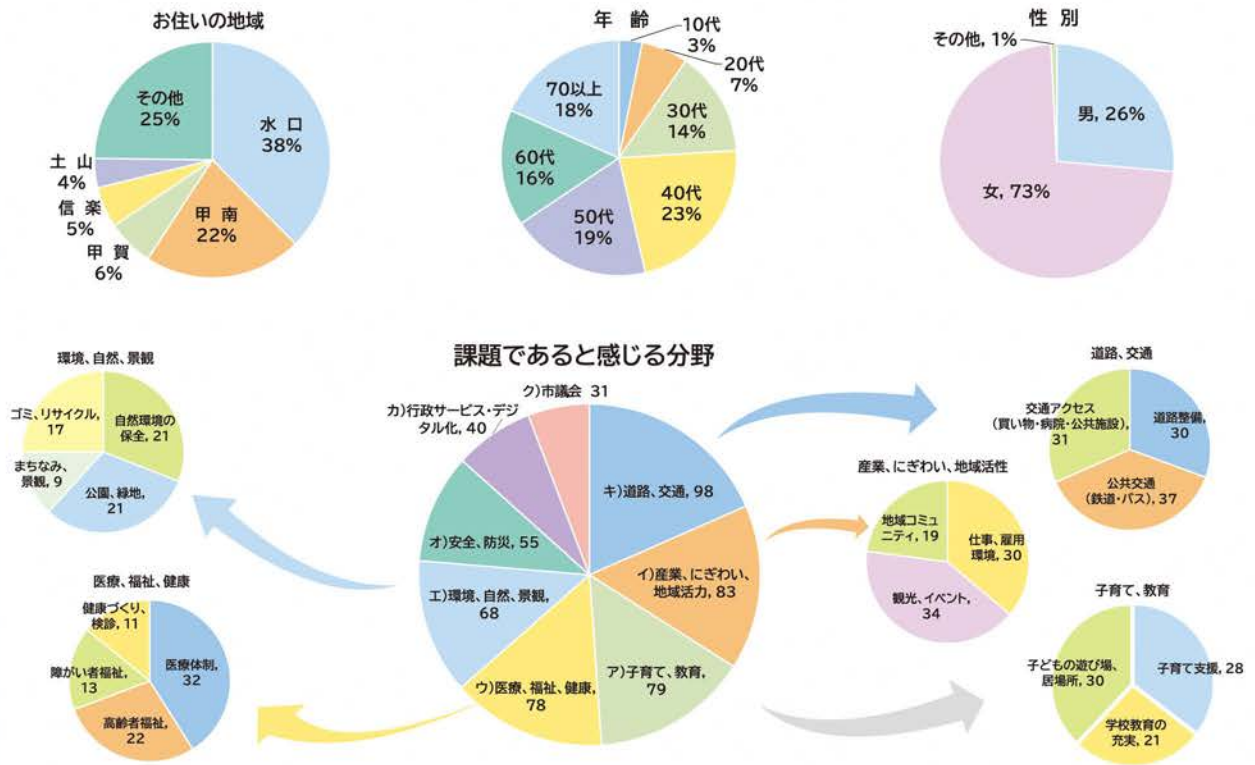
主なお声は左記の通りです。また、分野別にまとめた円グラフは、下記の通りです。

【主なお声】

- こどもがのびのびと遊べる場所が欲しい。
- 観光資源があるのに活かしていない。
- 公園の整備を充実させてほしい。
- 買い物・通院のバスが少ない。
- 高齢者医療・介護の充実を図ってほしい。

甲賀市議会アンケート結果

実施日：2026年2月11日(水)
場所：平和堂 アル・プラザ水口



組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

令和8年第1回定例会 3月27日

甲賀広域行政組合の令和8年第1回定例会議が3月27日開かれ、

①人事院勧告に準拠して、職員及び会計年度任用職員給与を引き上げる条例改正、②し尿汲み取り料の徴収を後納制度に移行したことに伴い債権管理の適正化を図るため新規に債権管理条例を制定、③火災予防条例の一部改正、④令和7年度補正予算(第4号)、⑤令和8年度一般会計予算(歳入歳出42億3441万1千円)、⑥行政組



テント型サウナ(消防庁資料より引用)

合議会会議規則の一部改正の6議案が上程され、いずれも全会一致で可決しました。

火災予防条例の改正は、近年、テント型・バレル型の簡易サウナが普及してきたこと、その特性に応じた防火安全対策を図るため、また輪島市での大規模火災をふまえて大規模地震時における電気火災対策の強化を図るため、感震ブレーカーの普及促進を目的として条例改正するものです。甲賀・湖南両市管内には、こうした簡易サウナが5棟あることが質疑の中で明らかになりました。

一般質問は、山岡光広議員が「湖南中央消防署の岩根地先での建て替え断念について」と出口雅之議員が「甲南地先の火災について」を行いました。

組合議会報告

公立甲賀病院組合議会

令和8年第1回臨時会 2月19日
令和8年第2回定例会 3月24日

令和8年第1回臨時会
議案第1号

令和7年度公立甲賀病院組合一般会計補正予算

歳入歳出を、それぞれ5039万7千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ29億3870万3千円とするものが上程され全会一致で可決しました。

全員協議会

地方独立行政法人公立甲賀病院、令和7年度上半期事業報告。中期計画・年度計画・法人自己評価説明を詳しく受けました。

令和8年第2回定例会
議案第2号

令和8年度公立甲賀病院組合一般会計予算

《歳入歳出予算の総額》
18億5570万円
特別職及び職員の人件費、法人運営負担金、企業債元償還金及び医療機器等整備に係る貸付金が主な歳出です。

議案第3号

公立甲賀病院組合監査委員の選任につき、公立甲賀病院組合規約第11条第2項の規定により議会の同意を求めるもの。

氏名 辻 恵子氏

上程された2議案とも全会一致で可決しました。

一問一答 Q.人生で一番好きな歌は？

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 
若狭 健太
無会派
the pillows の Funny Bunny. なんでもできそうな勇気が湧きます。 | 
古賀 友康
凜風会
河島英五の「時代おくれ」歌詞の中にもありますが十八番なので。 | 
木村 眞雄
公明党
トワエモア「空よ」50年前の曲です。日本の原風景を想像できるメロディーと歌詞が好きです。 | 
山岡 光広
日本共産党甲賀市議員団
高石ともやの「友よ」。懐かしいフォークソングです。みんなで肩寄せあって歌いました。 |
| 
長 源一
無会派
サウンドオブミュージックです。私が楽器(トランペット)を始めて最初に演奏したのがこの曲です。 | 
出口 雅之
凜風会
世界に一つだけの花 ナンバーワンでなくて、オンリーワンになることを常に願っています。 | 
奥村 則夫
瑞誠の会
ウルフルズの「パンザイ」青春時代に心が動かされ、響いて、一番歌ってきた曲です。 | 
堀 郁子
公明党
荒井由実さん「海を見ていた午後」です。情景が浮かんでくる歌詞が好きで口ずさんでいます。 |
| 
村木 慶太郎
無会派
美空ひばりの「愛燦爛」「人生って不思議なものですね」最近、特にそう感じます。 | 
西田 忠
凜風会
ビクトル・ハラ「アマンダの思い出」、その内容と時代背景を知ると胸が締め付けられます。 | 
小倉 剛
瑞誠の会
川の流れるように 美空ひばり この唄の歌詞のような人生でありたい。 | 
田中 喜克
瑞誠の会
「人生一路」。思い立ち止まるたびに「一度決めたら二度とは変えぬ、これが自分の生きる道」の一節が。 |
| 
富増 力章
瑞誠の会
松田聖子の青い珊瑚礁。青春の甘酸っぱい思い出が詰まった歌。ファンクラブにも入っていました。 | 
福井 進
無会派
「何度でも」(ドリカム)「1万回だめでも、一万一回目は来る」と、励まされています。 | 
瀬古 幾司
凜風会
ラジオ体操の歌「新しい朝がきた…」、夏休みの思い出、心にも身体にも響き、前向きになれる歌。 | 
戎脇 浩
瑞誠の会
「母へ」半崎美子 母親に泣かれたことのある方は、一度聞いてみてください。 |
| 
北田 麗子
瑞誠の会
中島みゆき「誕生」。逆説的な意味で、望まれない出生であった方に誕生の希望を見出してほしい。 | 
糸目 仁樹
無会派
初期のメタリカ。激しさとメロディが最高。彼らの影響でミュージシャンを目指したことも。 | 
西村 慧
凜風会
コブクロの「轍(わだち)」です。どんな時も挑戦する大切さを教えてくれて、勇気をくれるから。 | 
橋本 恒典
凜風会
甲賀市の無形民俗文化財に指定されている「すいりょう節」です。雨乞いの盆踊りでもあります。 |
| 
中島 裕介
瑞誠の会
終わりなき旅(Mr.Children) 人生の節目で背中を押してくれた曲。 | 
西山 実
日本共産党甲賀市議員団
沢田研二の「勝手にしやがれ」です。私の十八番で、カラオケでも盛り上がりります。 | 
岡田 重美
日本共産党甲賀市議員団
中島みゆきの「時代」です。時代はめぐる、新しい始まりがあると希望を与えてくれる曲です。 | 
谷永 兼二
凜風会
この曲を聴くとFMしがらきに汗したギラギラした夏が蘇る。サザンオールスターズ 太陽は罪な奴。 |

6月定例会の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
5/31	6/1	2	3	4	5 本会議 (第1日)	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 本会議 (第2日)	16 本会議 (第3日) 一般質問	17 本会議 (第4日) 一般質問	18 本会議 (第5日) 一般質問	19 本会議 (第6日) 一般質問	20
21	22 委員会	23 委員会	24 委員会	25 委員会	26	27
28	29	30 本会議 (第7日)	7/1	2	3	4

※午前9時30分から開会します。

編集後記

▶「歌は世につれ、世は歌につれ」歌は、その時代や世相を反映し、世の中も、その頃に流行っていた歌の雰囲気やメッセージに影響を受けて変化をしてきました。また、人それぞれの人生においても歌に励まされ、癒され、時には歌ったり、思い出と共に存在してきました。▶今回の、一問一答のコーナーのお題は「人生で一番好きな歌は？」にしました。各議員の普段とは違った一面をご覧になり、身近に感じていただければ幸いです。▶今後も議会だよりを通じて、審議結果や活動内容などを分かりやすく、お伝えできるよう努めてまいります。(広報部会員 富増力章)

※QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

甲賀市議会だより表紙写真募集

甲賀市内で撮影された風景、各種イベントなど、甲賀市の「今」を映し出す写真をご応募ください！

掲載日

令和8年8月1日発行
甲賀市議会だより第87号

応募の詳細は
こちら▶

